

水族館の飼育員さんやお仕事に関する質問

回答：しながわ水族館 <https://www.aquarium.gr.jp/>



Q.飼育員さんはどんな仕事をしてるの？どんな1日を過ごしているの？

生きもののお世話をしています。お世話とは健康チェックをする、餌を作る、餌をあげる、水槽の掃除をする、などいろいろです。

1日は健康チェックから始まり、餌を作って、餌をあげて、ショーの時間にはショーに出演したりします。1日の終わりには、その日の記録を残しています。

Q.どうして飼育員さんになろうと思ったんですか？

(きっかけは?) いつ決めましたか？

子どもの頃に遊びに行った水族館のイルカのショーに感動して、イルカのトレーナーになりたいと思いました。その頃にはもう1つ、将来の夢がありましたが、高校生になって進路を決めるときに、水族館の飼育員になろうと決めました。

Q.飼育員さんには、どうしたらなれますか？

小学校のときは、どんな勉強をすればいいですか？

大学や専門学校に行って飼育員を目指す人が多いです。“潜水士”という資格も必要です。小学校では、小学校の勉強を頑張って、たくさん遊んでください！いろんな水族館にも遊びに行ってください！たくさんの方に興味を持って調べてみるのが大切だと思います。

Q.どうやってその職業に、つけたのか？

水族館で働いている飼育員のほとんどが海洋系の大学や専門学校を卒業していますが、飼育員と言う資格はありませんので、誰でもなれる職業です。ですが、飼育員の募集はかなり少ないです。夢をかなえたい強い思いと、チャンスを逃さないことがこの職業につけるポイントだと思います。

Q.入社試験ってどんな試験ですか？

水族館によって、試験の内容は違います。履歴書と面接だけの所もあれば、生きものについてのテストと水泳のテストがある水族館もあります。

Q.水族館の仕事で一番楽しいことはなんですか？

いろいろな生きものと直接触れ合うことができること、好きな生きもののためになることを考えて仕事ができることが楽しい部分です。

Q.一番大変なことはなんですか？

生き物たちは言葉が話せませんので、調子がいいのか、具合が悪いのか、生きものを観察して体調を把握することは大変です。仕事では水とか餌とか重たいものを運ぶ、力仕事が多いので大変です。

Q.お仕事をされていてうれしいときはどんなときですか？

①大好きな生きものたちを見て、お客様が笑顔になってくれることです。
今回のオンラインイベントのように、生きもののが知りたい！大好き！と興味を持ってくれるみなさんの気持ちがとてもうれしいです。

②生きものが子どもを産んだり、タマゴがかえったりすることがうれしいです。生きものたちが安心して暮らせる環境を私たちが作れていることにもつながりますし、なによりどの生きものの赤ちゃんもカワイイので。

Q.水族館で働いていて一番やりがいを感じることはなんですか？

獣医の場合、元気がなくなったり大きなケガをしたりした生きものを治療して、元気になった時はやりがいを感じます。また、生き物が子供を産んだり、タマゴがかえったりしたときはやりがいを感じるし、うれしさもあります。

Q.担当の生きものはどのように決まったのですか？希望がかないましたか？

私は、みなさんと同じ幼稚園生くらいの時に、イルカのトレーナーになりたいという夢ができました。それから、その夢をずっとかなえたいと思って、しながわ水族館の海獣(イルカ、

アシカなど)担当の飼育員の試験を受けました。そして、夢をかなえることができました。

Q.イルカのショーに出るにはどうしたらいいですか？

まずは、イルカがどんな生きものなのかを知ることが大切です。そのことを、大勢のお客様の前で笑顔で伝えられるように、ショーの練習もたくさんしています。

Q.プールが苦手です。泳げなくても飼育員になれますか？

泳げなくても飼育員になれますが、水槽の掃除や、生きものに何かがあったときに水槽に入ることがあります。でも、オリンピック選手のように泳げなくても大丈夫です。今から、少しずつ練習すればきっと泳げるようになります。

Q.飼育で大変なことはありますか？

生き物たちは言葉が話せませんので、調子がいいのか、具合が悪いのか、生きものを観察して体調を把握することは大変です。仕事では水とか餌とか重たいものを運ぶ、力仕事が多いので大変です。

Q.飼育員さんは海の生きものの中で何が好きですか？

私は、イルカやアシカ、アザラシを担当しているので、やっぱり海で暮らす哺乳類が好きです。

Q.水族館に泊まることはありますか？夜も水族館にいるの？

基本、泊まることはありませんが、動物の赤ちゃんが生まれる時や体調が悪くなってしまった生きものを観察するときは、飼育員が交代で泊まることもあります。

Q.何時に起きて生きもののお世話をしていますか？

水族館に一番初めに出勤するのは、生きものたちの餌を準備する飼育員です。飼育員が住んでいる場所にもよりますが、朝5時に起きて電車に乗って水族館に向かいます。そして、8時から餌の準備を始めます。準備ができたら、餌をあげながら朝の健康チェックをします。

Q.昼と夜の水族館、違いはありますか？

昼は泳ぎ回っている魚が夜はゆっくり泳いでいたり、昼は泳いでいる魚が夜はサンゴや岩陰に隠れていたりすることもあります。逆に夜行性の魚たちは夜活発に泳ぎ回ります。動物たちは夜はそれぞれ水槽内の好きな場所で寝ています。

Q.餌やりや体調管理以外のお仕事って何ですか？

水槽をきれいにするための掃除も飼育員の仕事の一つです。
一日の仕事が終わったら、その日の生きものたちの様子を書く、観察記録をつけています。
その他にも、ショーの演出、ハロウィンやクリスマス、夏休みに合わせたイベントを企画して、準備も行っています。

Q.お掃除はどれくらいでしますか？

(掃除の頻度と仕方をお教えいただけたら幸いです)

水槽によって違いますが、屋外の水槽では夏は1週間に2回潜って掃除しています。
大きな水槽は飼育係が潜って掃除をします。
小さな水槽は中の生き物を別の水槽に移して水を全部捨てて掃除をします。



(C) Gakken

この内容を無断で転載、複写・複製することは固くお断りいたします